

回 覧



平塚市体協ニュース

第61号 平成29年3月31日

平塚市体育協会機関誌

平成28年度

平塚市スポーツ優秀選手及び団体 15氏2団体を表彰

- 【個人】(敬称略・50音順)
朝比奈 沙羅 平成28年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 柔道女子 78kg超級 優勝
浅利 昌哉 2016年グラプリ・ブタベスト 柔道男子 66kg級 準優勝
氏家 一郎 第17回ジャパングラシックベンチプレス選手権大会 ベンチプレスMII男子 120kg超級 優勝
... (more names and achievements)



前列左から、ウルフアロン氏、浅利昌哉氏、鈴木喜明平塚市まちづくり財団理事長、落合克宏平塚市長、田中国義平塚市体育協会会長、松岡俊男氏、外山尚人氏
後列左から、卜部兼慎氏、山下健太氏、山口秀斗氏、氏家一郎氏、平野貴之氏(東海大学柔道部)、太田彪雅氏、立川新氏

- 【団体】(敬称略・50音順)
東海大学 柔道部
平成28年度 全日本学生柔道優勝大会 団体優勝
(監督) 上水 研一朗
(選手) 小原拳哉、古居頌悟、ベイカー 茉秋、平野貴之、ウルフアロン、影浦心、尾方寿應、前田宗哉、西本幸弥、香川大吾、奥野拓未、太田彪雅
... (more names and achievements)

平成28年度 文部科学大臣表彰



平成二十八年十月七日、平成二十八年生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体文部科学大臣表彰が東京・霞が関の中央合同庁舎で行われました。平塚市体育協会副会長、平塚市ソフトテニス協会会長の笠井一榮氏がこの栄誉に浴しました。

笠井 一榮氏 (平塚市体育協会副会長・平塚市ソフトテニス協会会長)

平成二十八年十二月十日、平成二十八年日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰が東京・品川のガーデンシティ品川S HINAGAWAGOODSで行われました。平塚水泳協会会長の安木政二氏がこの栄誉に浴しました。



公認スポーツ指導者資格登録認定後、永年にわたりスポーツの指導育成及び組織化等に尽力し、顕著な功績が認められ、体育協会等からの表彰実績のある指導者が表彰される「日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰」を受賞。神奈川県水泳連盟副理事長等 H22〜現在。

平成28年度

平塚市体育協会 体育功労者4氏を表彰

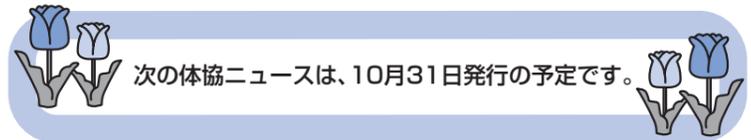
平成二十九年二月十一日、平塚市体育協会納会において、平成二十八年年度平塚市体育協会体育功労者四氏の表彰を行いました。ここに主な功績をご紹介します(五十音順)。

大野 忠氏 (平塚市ソフトテニス協会)

来三十三年間、協会常任理事として活動し、協会の発展と推進に尽力し、現在も継続して活動している。また、若手育成においても積極的に活動され市内在学の小学生・中学生のテニス教室を推進し、テニス競技者の底辺の底上げに貢献している。昭和四十九年〜六十二年の十三回、日本を代表する選手を選抜して平塚インドア全日本選抜軟式大会を協会役員として見附台体育館での開催に尽力され普及、発展に寄与した。

秋山 修氏 (平塚市陸上競技協会)

平成二年、日本陸上競技連盟の公認審判員資格を取得。教職の傍ら市内一周駅伝や郡市駅伝(現 かながわ駅伝)の選手と成と競技力向上を目的として



広報委員 粟生 光一/重田 明/南雲 弘/安藤 武夫/中川 仁/宮田 実

平塚市体育協会機関誌 「平塚市体協ニュース」 第61号
発行日 平成29年3月31日
発行人 会長 田 中国義
発行所 平塚市体育協会事務局
平塚市大原1-1
電話 0463(31)3060
FAX 0463(31)9640



(2面より続く)
十月で七十周年を迎えます。
主な事業
・平塚市選手権大会
（小学校・中学校・高校一般の部）
・ナイター陸上競技記録会
・市民総合体育大会
・平塚市ロードレース大会
・小学生駅伝
・市内一周駅伝
・少年少女マラソン大会
・中学校対抗陸上
・平塚ジュニア陸上教室
・月例記録会

平塚市の陸上競技への底辺拡大と人材発掘のために、記
録会（毎月第三金曜日）を行っ
ています。地元のランナーは
もとより他地区から参加する
ランナーも多く、常時百名を
越しています。
平塚ジュニア陸上教室
毎年市内の小学四・五・六年
生の希望者を対象として、年
十回開催しています。平塚市
陸上競技協会の指導者が走り
方や跳び方、競技の方法等に
ついて指導をしています。陸
上競技を続ける児童が一人でも
多くなるよう魅力的な陸上
教室を継続して実施していま
す。

平塚市空手道連盟

平塚市での空手道は、昭和
二十四年に中央大学空手道部
員二十名が平塚市桃浜町で合
宿を行い、空手道を初めて紹
介したことに始まります。
昭和二十九年には平塚空手
道協会が創立し、昭和三十年
に平塚市体育協会に加盟、後
に平塚市空手道協会、「全日本
空手道連盟」の流れから現在
の「平塚市空手道連盟」とい
う名称になりました。現在加
盟団体は十六団体です。
活動内容として、ジュニア
育成大会などの各種大会の実
施、寒稽古、審判講習会、演
武会などを実施しております。
空手道は「心・技・体」を



重んじる日本を代表する武道
の一つです。人間として大切
な礼節と強い心と自覚を持ち、
人間形成を図ることに、
青少年の健全育成や社会人も
育成し、精神力を養い、体力
を高めることを目指し、指導
者が一丸となって取り組んで
います。
二〇二〇年の東京オリ
ピック開催に期待を膨らませ、
空手道関係者は喜びを持って
指導をしています。
空手道に関心をお持ちの方
を心よりお待ちしております。

平塚市弓道協会

本会は発足して四十八年、
平塚市の弓道団体（平塚弓道
会、平塚市役所弓道部、平塚
中等教育学校、高浜高校）を
統括して総合体育館弓道場で
活動している。
毎年五月には市内在住者を
対象に弓道教室を開講してお
り教室修了後も弓道会に入
会して継続する人が増えてい
る。昨年度はスイスから単身
赴任していたウルリッヒ・ウ
ルフさんが受講後、平塚弓道
会に入会、初の外国人初段取
得者となった。かつて弓道指
導員として大原高校の全国大
会出場を果たした滝澤次郎
氏が昨年度から高浜高校の弓
道指導員となり、平塚市の高
校弓道の発展に貢献してい
る。二度の全国優勝を経験し
ている宮田融範士の会員一人
一人に対する丁寧な指導によ
り、多くの会員が県大会や西
湘地区の射会で優勝・上位入
賞を取っている。ねりんピッ
ク代表（菊地原清治、根本勝
弘）選手の輩出に続き国体代
表（佐々木晴子）選手輩出な
ど、全国で活躍する会員も続々
と誕生している。
「真善美」を追求する弓道、
的中を競う弓道、健康のため
に楽しむ弓道、昼夜を問わず
大勢の会員が道場に足を運ん



空手道の流派の全国大会で優
勝者や上位入賞者を多く輩出さ
せるなど、ジュニアの育成を含
めた指導力は高く評価される。
平塚市空手道連盟の理事を平
成十一年から務め、平成十六年
八月から平成二十三年まで市連
の事務局長の役職を通して、青
少年育成と空手道の技術向上の
ため尽力した。
各大会に参加する選手が多く
なるように工夫、改善したこと
や、審判ルールの変更の情報を
逸早く収集し、関係者に発信す
るなど、空手道競技の普及、発
展、また、技術向上に尽力した。
平塚で開催した大会や平塚市
が担当する各市での神奈川県主
催等の大会の関係機関との調整
に尽力し、大会を成功に導くな
ど、大会の開催運営に貢献し活
躍した。
平塚市体育協会の評議員を務
めている。
以上のとおり、空手道競技の
普及、発展に貢献した功績は誠
に顕著である。

【役員】
【会長】宮田融
【副会長】清水正明 南雲弘
大谷繁

【構成】
範士八段一名、教士六段二名、
錬士九名、五段十六名、
四段二十一名、参段四十三名、
二段三十九名、初段以下二十五
名
（男性八十六名・女性七十名
計・百五十六名）



※写真は左から、熊本征平氏（平塚市空手道連盟）、鈴木孝明氏（平塚柔道協会）、秋山修氏（平塚市陸上競技協会）、大野忠氏（平塚市ソフトテニス協会）、田中國義平塚市体育協会会長

(1面より続く)
の競技生活を生かして現役
選手の指導に尽力した。
平成五年平塚市陸上競技協会

の理事に就任し、審判部長や強
化部長として平塚市陸上競技協
会の運営に携わり、各種大会等
の円滑な運営に力を発揮した。

特に強化部長として、「三浦半
島駅伝」や「かながわ駅伝」競
走大会の代表選手の選考や強化
練習・育成に手腕を発揮した。

平成二十七年
から総務部長と
して平塚市陸上
競技協会全体の
運営に携わり、
会則の見直しや
理事会のあり方
等に積極的に取
り組み、審判技
術の向上・管理
運営に尽力して
いる。
以上のお
り、陸上競技の
普及、発展に貢
献した功績は誠
に顕著である。
◇鈴木 孝明氏
（平塚柔道協会）
昭和三十四

加盟団体だより

平塚市陸上競技協会は、

一九四七年（昭和二十二年）
十月に発足しました。今年の
（3面へ続く）